

エコアクション21

環境経営 レポート

2024年度版

対象期間

2024年7月～11月

発行年月日

2024年12月24日

株式会社 佐伯コミュニケーションズ

C O N T E N T S

1. 組織の概要	03
2. 実施体制	05
3. 環境経営方針	06
4. 環境経営目標	07
5. 環境経営計画	08
6. 環境経営計画の取組と評価	09
7. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟等の有無	12
8. 代表者による全体の評価と見直しの結果	13

1. 組織の概要

(1) 事業者名、代表者名など

株式会社 佐伯コミュニケーションズ

代表取締役社長 平岩 照正

設 立 昭和16年10月1日

資 本 金 2,000万円

(2) 所在地

本 社	〒870-0847 大分県大分市広瀬町2丁目3番21号 TEL 097-543-1211 FAX 097-554-4028
クリエイティブ 事業部	〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷5-29-7 ドルミ御苑1002号 TEL 03-5368-4301 FAX 03-5368-4380
福岡営業所	〒815-0083 福岡県福岡市南区高宮5丁目3番9号エルソール高宮202 TEL 092-533-9234 FAX 092-533-9236
佐伯営業所	〒876-0823 大分県佐伯市女島9032 TEL 0972-23-0170 FAX 0972-23-0171
竹田営業所	〒878-0012 大分県竹田市大字竹田町574-1 TEL 0974-63-0085 FAX 0974-63-0090
津久見営業所	〒879-2433 大分県津久見市中田町2-14 第一文具店2F TEL 0972-82-8028 FAX 0972-23-0171
由布営業所	〒879-5425 大分県由布市庄内町淵2463 TEL 097-582-2010 FAX 097-582-2050

(3) 環境管理責任者名および担当者連絡先

環境管理責任者 総務部 部長

担 当 者 工務局 次長

デジタル制作部 課長補佐

連 絡 先 TEL 097-543-1211 FAX 097-554-4028

E-mail info@saiki.co.jp

(4) 事業内容

各種調査業務／イベントの企画立案・事務局代行／企画・原稿作成／

デジタルコンテンツ・システム開発／制作／印刷製本／アッセンブリ・発送業務サポート

(5)事業規模

売上高 約13億円
従業員数 108名（2024年4月現在）

事業所	従業員数	床面積	車両台数	承認・登録
本 社	97名	3,200.58㎡	24台	対象
クリエイティブ事業部	5名	78.63㎡	0台	対象
福岡営業所	2名	49.50㎡	2台	対象
佐伯営業所	4名	368.70㎡	2台	対象
竹田営業所	0名	8.50㎡	0台	対象
津久見営業所	0名	6.30㎡	0台	対象
由布営業所	0名	66.00㎡	0台	対象

(6)事業年度

7月～6月

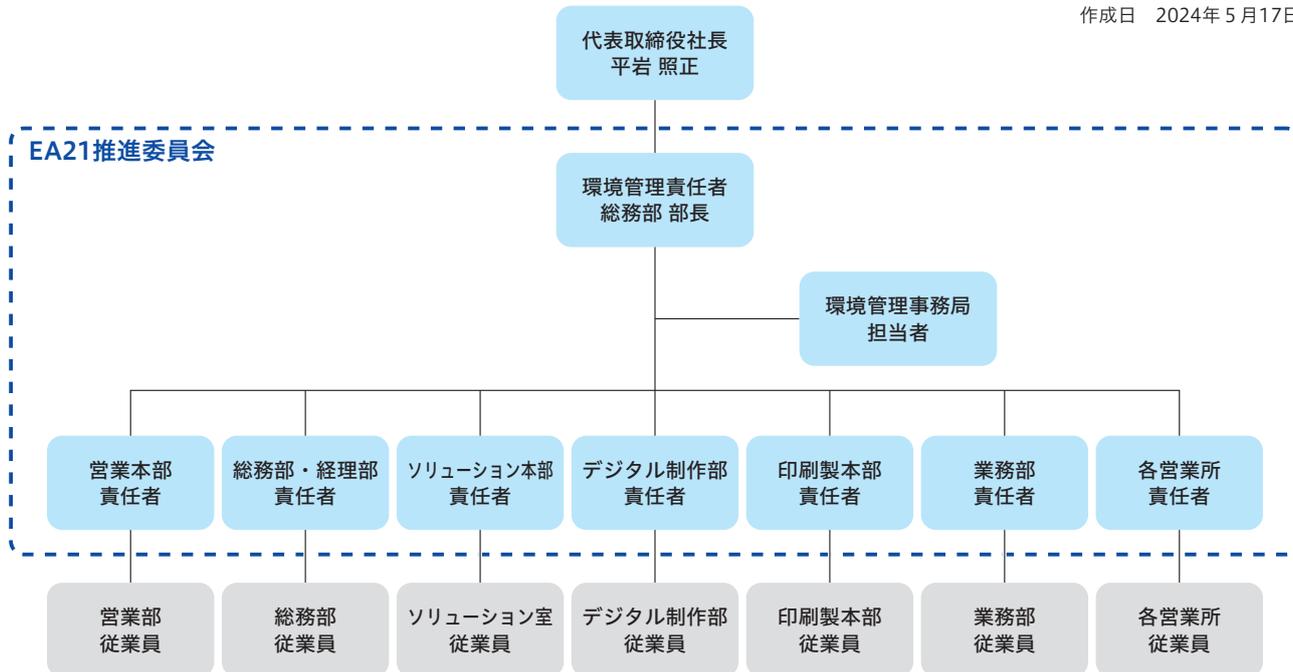
(7)対象範囲

全組織、全活動

2. 実施体制

(1)EA21組織図

作成日 2024年5月17日



(2)EA21役割と責任及び権限

代表者	<ul style="list-style-type: none"> ■ 経営における課題とチャンスを確認にする ■ 環境経営に必要な経営資源（人・物・資金）を準備する ■ 環境管理責任者の任命する ■ 環境経営方針を定める ■ 環境経営目標及び環境経営計画、実施体制を承認する ■ 全体の評価と見直しを実施する ■ 環境経営レポートの承認する
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ■ 環境経営システムの構築・運用状況を代表者に報告する ■ 環境関連法規等のとりまとめ表の承認、遵守状況チェック結果を承認する ■ 各部門の環境経営目標、環境経営計画、実施体制の確認と全体調整をする ■ 環境上の緊急事態の想定及び対応策を承認する ■ 問題点の是正及び予防処置を承認する ■ 環境経営レポートを確認する
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ■ 環境活動の予実管理を行い、数値の取りまとめを行う ■ EA21推進委員会を開催する ■ 環境経営レポートの取りまとめ、作成する
EA21 推進委員会	<ul style="list-style-type: none"> ■ 全体的な見直しのために必要なデータを集計する ■ 実施状況の確認と必要な措置を検討する ■ 自部門の環境活動計画の具体的な取り組み内容を実践し推進する ■ 自部門の環境教育を推進する
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> ■ EA21部門責任者の管理・指導の下、環境活動を推進する

3. 環境経営方針

■環境理念

佐伯コミュニケーションズは、環境保全に対する責任を強く認識し、全社一丸となって地球環境に優しい企業づくりを推進してまいります。日常的に使用する電気やガスなどのエネルギー資源の削減に努めるとともに、各種廃棄物の適切な管理にも細心の注意を払います。これにより、現在の環境状態をより良いものへと改善し、次の世代へと持続可能な形で引き継ぐことを目指します。私たちの取り組みは、環境保全の意識を高め、企業活動のすべてにおいて持続可能な成長を実現するための基盤を築いてまいります。

■環境行動指針

当社は、近年ますます深刻化する環境問題に対応するため、自主的かつ積極的な取り組みを重要な柱と位置付けています。これにより、エネルギー使用量や廃棄物量の削減を目指します。

1. 当社の事業に関連する環境関連法規等を遵守します。

2. 当社は次の項目を重点項目として、環境活動を計画的に取組み実施します。

①エネルギー・資源の効率的な利用と環境負荷の低減

電力・燃料などのエネルギーを効率的に使用し、省エネ設備・プロセスの改善を通じて二酸化炭素排出量の削減を図ります。また、廃棄物発生抑制とリサイクルを推進し、資源の有効活用に努めます。

②環境負荷物質の適正管理と安全な使用

化学物質の管理を徹底し、安全かつ適正に使用します。また、環境負荷の少ない原材料の調達を優先し、環境に配慮した材料選定を進めることで、環境負荷の軽減を図ります。

③生産プロセスの効率化と環境意識の浸透

印刷工程の管理を強化し、生産効率性を高めるとともに、全社員および協力会社への環境教育・啓発を徹底して、社内外に環境保全意識の浸透を図ります。

3. 当社の毎年の環境への取り組みを「環境経営レポート」にとりまとめ、全社員への周知および一般公開を行い、環境経営の継続的な改善に努めています。

制定日 2024年6月28日

株式会社 佐伯コミュニケーションズ
代表取締役社長 平岩 照正

4. 環境経営目標

環境目標	単位	目標			
		基準年 2023年度	2024年度 (1%削減)	2025年度 (2%削減)	2026年度 (3%削減)
		2023年7月 ～ 2024年6月	2024年7月 ～ 2025年6月	2025年7月 ～ 2026年6月	2026年7月 ～ 2027年6月
1. 二酸化炭素排出量の削減	kg-CO ₂	381,377	377,563	373,749	369,936
①電気使用量削減	kWh	646,365	639,901	633,438	626,974
②ガソリン使用量削減	ℓ	25,490	25,235	24,980	24,725
2. 廃棄物排出量の削減					
①一般廃棄物排出量の適正管理	—	—	適正使用・適正管理に努める		
②紙ゴミの100%リサイクル	%	100	100	100	100
③産業廃棄物の削減	kg	7,706	7,629	7,552	7,475
3. 水使用量の削減	m ³	946	937	927	918
4. 化学物質使用量の適正管理 (印刷機洗浄用)	—	—	化学物質使用量の把握と適正管理に努める (製品の品質に関わるため)		
5. 環境負荷の小さい原材料調達 (FSC認証紙)	件 (FSC認 証案件)	52	52.5 (+1%)	53 (+2%)	53.5 (+3%)
6. 印刷の工程管理に努め、 生産効率を高める	% (材料 効率)	98.17	98.27 (+0.1%)	98.36 (+0.2%)	98.46 (+0.3%)

※電力のCO₂排出係数は、2022年の0.462kg-CO₂/kWh(九州電力(株)排出係数)、2022年の0.376kg-CO₂/kWh(東京電力ホールディングス(株)排出係数)、および2022年の0.274kg-CO₂/kWh(新電力おおいた(株)排出係数)を使用。

※軽油、灯油、LPGは使用量が少なく、突発性や季節性を考慮し、目標は設定せず、日常活動で管理していく。

※CO₂排出量は、軽油、灯油、LPGを含めて管理していく。

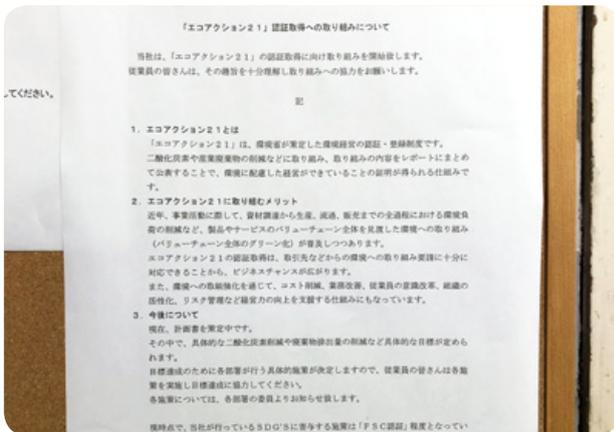
※当社の化学物質は、全て環境配慮製品であり、PRTR法対象の有機溶剤は一切使用していない。その他の化学物質を管理する。

5. 環境経営計画

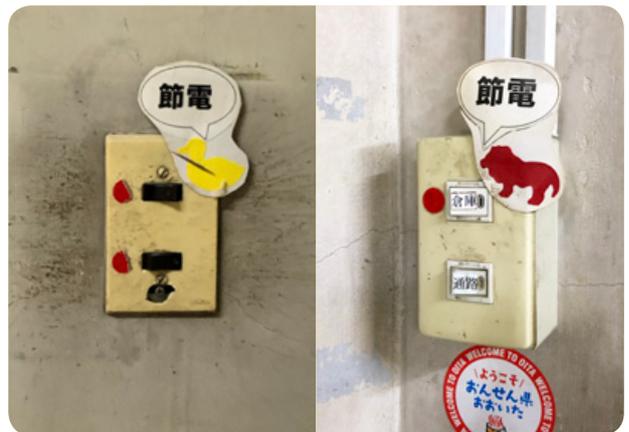
環境目標	具体的な行動	実施状況
1. 二酸化炭素排出量の削減		
①電気使用量削減	1. 事務所、工場等の照明は、昼休み、残業時など不要な時は消灯する	○
	2. 人が使用していない部屋や場所の照明は、普段は消灯し、使用時のみ点灯する	○
	3. 室温管理を徹底し、冷房期は28℃、暖房期は20～19℃を目安に、空調機の温度設定で室温調節する（室温管理は温度計）	○
②ガソリン使用量削減	1. ふんわりアクセル「eスタート」（5秒間で20km/hが目安）を心がける	○
	2. 不要な荷物を下ろし、車間距離にゆとりをもって、加減速の少ない運転をする	○
	3. ガソリン給油時にはタイヤの空気圧を点検する	×
	4. 車の燃費を把握する	△
2. 廃棄物排出量の削減		
①一般廃棄物排出量の適正管理	1. 廃棄物の分別排出を行う	○
	2. コピー用紙の使用量を削減する	○
②紙ゴミの100%リサイクル	1. 紙ゴミの100%リサイクル	○
③産業廃棄物の削減	1. 廃棄物の分別排出を行う	○
	2. 廃棄物排出量の把握する（マニフェストより）	○
3. 水使用量の削減	1. 日常の節水・漏水の点検	△
4. 化学物質使用量の適正管理（印刷機洗浄用）	1. 適切な管理・使用を実施する	○
5. 環境負荷の小さい原材料調達（FSC認証紙）	1. FSC認証紙を使用した案件の増加	○
	2. FSC認証紙を使用した案件の把握する	○
6. 印刷の工程管理に努め、生産効率を高める	1. 工程管理会議を通じて、作業の効率化を図る	○
	2. 使用した刷版の管理および記録を徹底する	○
	3. 使用した印刷用紙の管理および記録を徹底する	△
	4. 使用したインクの管理および記録を徹底する	△

備考) ○：できた △：改善の余地あり ×：できなかった

6. 環境経営計画の取組と評価



掲示による周知



不要時はシール以外を消灯



エアコンフィルター清掃チェックシート



温度設定の表記

環境目標	単位		基準年 2023年度	2024年度 目標	2024年度 実績	目標 達成率	目標 達成評価
1. 二酸化炭素排出量の削減	kg-CO ₂	7月	36,070	35,709	39,066	102%	○
		8月	37,688	37,311	39,190		
		9月	40,207	39,805	37,455		
		10月	32,642	32,316	30,291		
		11月	25,908	25,649	21,531		
		合計	172,516	170,791	167,533		
①電気使用量削減	kWh	7月	60,702	60,095	70,592	95%	△
		8月	65,366	64,712	73,100		
		9月	70,158	69,456	69,444		
		10月	53,740	53,203	53,318		
		11月	41,313	40,900	36,795		
		合計	291,279	288,366	303,249		
②ガソリン使用量削減	ℓ	7月	2,390	2,366	3,055	82%	×
		8月	2,280	2,257	2,859		
		9月	2,299	2,276	2,737		
		10月	2,125	2,104	2,814		
		11月	2,134	2,113	2,115		
		合計	11,228	11,116	13,580		

(評価) 課題あり：電力使用量は、夏場の猛暑に伴う空調負荷の増大により目標達成に至りませんでした。温度設定の見直しを含め、さらなる電力消費削減に努めます。
ガソリン使用量については、エコドライブ意識の向上を図るため、啓発活動を強化していきます。

備考) 評価区分 ◎：目標達成率≧110% ○：110%>達成率≧100% △：100%>達成率≧90% ×：90%>達成率

環境目標	単位		基準年 2023年度	2024年度 目標	2024年度 実績	目標 達成率	目標 達成評価
2. 廃棄物排出量の削減							
①一般廃棄物排出量の適正管理	—	適正使用・適正管理に務める				—	—
②紙ゴミの100%リサイクル	%	7-11月	100	100	100	100%	○
③産業廃棄物の削減	kg	7月	530	525	963	128%	◎
		8月	512	507	496		
		9月	551	545	512		
		10月	1,696	1,679	457		
		11月	680	673	639		
		合計	3,969	3,929	3,067		

(評価) 良好：産業廃棄物は、マニフェストを通じて適切に処理されていることを確認しました。一般廃棄物についても分別を徹底し、引き続き無駄なゴミを出さない取り組みを維持します。

備考) 評価区分 ◎：目標達成率≧110% ○：110%>達成率≧100% △：100%>達成率≧90% ×：90%>達成率

環境目標	単位	基準年 2023年度	2024年度 目標	2024年度 実績	目標 達成率	目標 達成評価	
3. 水使用量の削減	m ³	7月	73	72	90	94.5%	△
		8月	73	72	90		
		9月	82	81	78		
		10月	82	81	78		
		11月	80	79	73		
		合計	389	385	408		

(評価) 課題あり：目標値を超過しました。社内での節水意識向上を図り、水使用量の抑制に努めます。

備考) 評価区分 ◎：目標達成率≧110% ○：110%>達成率≧100% △：100%>達成率≧90% ×：90%>達成率

環境目標	単位	基準年 2023年度	2024年度 目標	2024年度 実績	目標 達成率	目標 達成評価
4. 化学物質使用量の適正管理 (印刷機洗浄用)	—	—	化学物質使用量の把握と適正管理に努める (製品の品質に関わるため)	—	—	—

(評価) 良好：PRTR制度の対象となる化学物質の使用は確認されず、現状の取り組みを継続します。

備考) 評価区分 ◎：目標達成率≧110% ○：110%>達成率≧100% △：100%>達成率≧90% ×：90%>達成率

環境目標	単位	基準年 2023年度	2024年度 目標	2024年度 実績	目標 達成率	目標 達成評価	
5. 環境負荷の小さい原材料調 達 (FSC認証紙)	件 (FSC認 証案件)	7-11月	24	24.25	24	100%	○

(評価) 良好：問題は確認されず、現状の取り組みを継続します。

備考) 評価区分 ◎：目標達成率≧110% ○：110%>達成率≧100% △：100%>達成率≧90% ×：90%>達成率

環境目標	単位	基準年 2023年度	2024年度 目標	2024年度 実績	目標 達成率	目標 達成評価	
6. 印刷の工程管理に努め、 生産効率を高める	% (材料 効率)	7-11月	93.6%	94.6%	89.4%	94.5%	△

(評価) 概ね良好：現在の取り組みを継続します。引き続き、資材の使用量を記録し、改善の可能性を検討します。

備考) 評価区分 ◎：目標達成率≧110% ○：110%>達成率≧100% △：100%>達成率≧90% ×：90%>達成率

7. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

(1)環境関連法規の遵守及び違反の有無

当社の事業活動、製品及びサービスに適用される主な環境関連法規等は、以下のとおりです。これらの関係法令に基づく管理規制基準の遵守、届出等の状況を確認した結果、全ての法律で遵守を確認し、違反はありませんでした。

(2)違反、訴訟等の有無

関係機関等からの違反の指摘、利害関係者からの訴訟も過去3年間ありませんでした。

法規制等の名称	遵守内容	遵守状況
廃棄物の処理及び清掃に関する法律（廃棄物処理法）	処理業者との委託契約・マニフェスト伝票の交付・マニフェスト交付等状況報告・マニフェスト伝票の保管	○
消防法	火災予防、危険物（IPA等）管理、自衛消防隊の編成、消防訓練の実施	○
使用済み自動車の再資源化に関する法律（自動車リサイクル法）	使用済み自動車の引き渡し義務	○
家電リサイクル法	製品廃棄の際の適正な引渡、処理料金の支払い	○
フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律（フロン排出抑制法）	簡易点検	○

備考) 評価区分 ○：遵守 ×：不遵守 ー：該当なし

8. 代表者による全体の評価と見直しの結果

印刷業界は、技術革新が進む現代社会において、ますますその役割が多様化し、重要性を増しております。紙媒体での印刷はもちろん、デジタルと連携した情報発信、さらには環境負荷低減に向けた取り組みなど、新たな挑戦が求められる時代です。

弊社では、持続可能な社会の実現が求められる中、環境負荷の少ない製品づくりや、リサイクル可能な素材の活用、さらにはカーボンニュートラルを目指した取り組みなど、多方面での努力を重ねております。

この度、弊社では、エコアクション21の認証を取得し、数値目標を定めて、環境問題に取り組むことになりました。PDCAサイクルを回し、継続的な改善活動に取り組み、社員教育や各工程における課題解決に繋げて参ります。

見直し・指示

- 実施体制：無し
- 環境経営方針：無し
- 環境経営目標・計画：PDCAサイクルを回し、改善活動に努めること。